

建築・空間分野 | オフィス・会議施設 | 奨励賞(審査委員長賞) 032

日本圧着端子製造株式会社

Atelier KISHISHITA+Man*go design、日本圧着端子製造株式会社、鹿島建設株式会社 関西支店、越井木材工業株式会社

概要

圧着端子やコネクター等、接続システム製品を製造販売するグローバル企業の国内拠点となる新社屋である。都心の防火地域内において防災に十分な配慮をしつつ外装の木質化を積極的に試みた建物である。地下2階、地上8階建てで約8,200m²の空間は、各階を4つのエアリに分割し、隣り合うエアリが床を半階ずらしながら繋がる二重螺旋構造で構成されている。循環資源である国産木材を多用することで快適な執務空間を形成しつつ、使用材料の素材感や色調の変化を通して、あるいは20年後に想定している外装木格子の取替えを通して、「動的な建築」の在り方を表現したプロジェクトである。働くための空間としてより快適なものを目指すと同時に、ヒートアイランド現象等の環境問題や日本の林業が抱える様々な問題を解決して持続可能な社会を形成していくための「小さくても確かな一歩」となることを目指している。

◆http://www.at-kishishita.jp/i_works/w_jst/works_jst-1.html

評価ポイント 意欲的な内外装の木質化を試みた、意匠性に優れた建築物である。保護塗装を施さずに経年変化も読み込んだ設計は、木の魅力を伝えるに十分な存在感を持つ。外装の木質化によって、林業関係者や設計者の意欲向上にもつながる。



建築・空間分野 | 学習施設 | 奨励賞(審査委員長賞) 033

竹中大工道具館新館

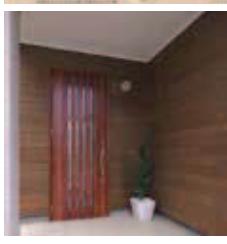
株式会社竹中工務店、株式会社乃村工藝社、公益財団法人竹中大工道具館

概要

日本で唯一の大工道具の博物館「竹中大工道具館」が創設30周年を機に移転し、「人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ」をテーマに、道具の保存・展示に加え、職人の技と心の記録、木の文化の理解促進、伝統のものづくり支援など、より幅広い活動を行うため、新たな一歩を踏み出した。六甲山麓の都市の中の森に、地下2層に常設展示室と木工教室を、地上部に鉄と木のハイブリッドによる多目的ホールを設け、線の中にあら平屋の併まいの和の空間を創出した。7つのコーナー展示、国内外の著名な工匠との協働による実物大模型、職人による伝統的技術とアルミ・鉄・コンクリートにまつわる現代的技術—それぞれの粹を集めた「現代の職人の技と心」を随所に編み込み、大工道具の世界の広がりと豊かさだけでなく、伝統のものづくりに新たな刺激を与える場を目指した。

◆<http://www.douukan.jp/>

評価ポイント 日本で唯一の大工道具の博物館として、職人技術や先進技術を空間に使い、木の魅力を伝える意匠性が高いミュージアムとなっている。技術展示とともに、木の素晴らしさや木と触れ合う楽しさを体験するワークショップなどを実施しており、日本の木づかいの伝統から技の習得まで次世代へ伝えるべきコンテンツがあることを評価した。



建材・部材分野 | 床・壁・内外装材 | 奨励賞(審査委員長賞) 034

カーボンオフセットサイディング

ニチハ株式会社

概要

国産材(スギ・ヒノキ)の背板・端材を利用した木材チップを原料に、セメント系無機バインダーとの組み合わせによる窯業系サイディング(外壁材)。国産木材の中でも「間伐材」のみを使用することで木材の性能を活かした高強度の外壁材であることに加え、間接的に山の理想的な循環を促し土壌が脆弱な森を強い山に生まれ変わらせ、CO₂吸收拡大にも貢献する機能も併せ持つ。木の生長過程で取り込んだCO₂が製品内部へ固定され、さらに間伐材利用拡大により森林でCO₂吸収源が拡大することに着目し、その両方の効果をクレジットとして付加させており、製品を購入したお施主様は住宅建築後生活時に排出するCO₂の一部を実際にオフセット(相殺)が可能となる。購入代金の一部が森を育てる活動に還元され、製品を選ぶ人が増えれば増えるほど森づくりの輪がひろがり好循環を生み出す。

◆<http://www.nichiha.co.jp/pdf/products/carbonoffset.pdf>

仕様: 厚さ16mm×幅455mm×長さ3,030mm 他

価格: 3,456円～10,152円/枚 (2,507円～7,365円/m²) 税込

入手先: 代理店販売

評価ポイント 国産材の端材等を利用した木材チップを原料にした窯業系外壁材である。購入者には「カーボン・オフセット証明書」を発行し、CO₂削減量を見える化しており、製品購入を通じて環境貢献が実感できる仕組みになっている。